

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスわこう境港		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 5日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名(19家庭)	(回答者数) 19名(19家庭)
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童それぞれが自分のしたい遊びを楽しめる環境がある。	広いスペースがあり、体を動かして遊ぶスペースと、座って遊ぶスペースを分けている。	体育館で楽しみながら身体作りや、ルールを守って遊ぶ楽しさに気付けるように、集団遊びを充実させたい。
2	学習室があり、宿題に取り組める。	学習習慣が身につくように取り組んでいる。 周りの音が気になる児童には集中できるようにイヤーマフの貸し出しも行っている。	さらに集中して取り組めるように机の配置換えを検討中。
3	身体作りに取り組んでいる。	日々の活動で、ダンスや体幹トレーニングの他にサーキット遊び等の運動系の活動も取り入れ、毎月一回体育館遊びも行っている。	日々の活動では、広く使ってサーキット遊びや、風船バレー等の運動遊びを行う等工夫して、様々な活動を行いたい。 体育館遊びでは、楽しみながら身体作りや、ルールを守って遊ぶ楽しさに気付けるように、集団遊びを充実させたい。
4	ご家族様や、学校と連携を取らせて頂き、ともに支援を行っている。	ご家族様や学校の担任の先生と情報交換や、支援方法も共有して頂き、密に連携を取らせてもらっている。	児童の支援の為に、今後も連携を取っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体で発信・伝達したことへの周知が不十分と感じた。	個々への発信・伝達は周知はできていると感じているが、全体へ向けた発信・伝達では周知ができていないと感じた。	全体での発信・伝達の仕方を今後工夫し、周知に努めたい。
2	研修を積み、職員は確実にスキルアップしているが、継続して研修を取り入れていきたい。	個々に合わせた支援の為に、継続したスキルアップが必要と考える。	より良い情報をインプットして、さらにスキルアップし、支援に反映させていきたい。
3			